

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

<学校用>

校番(25)番 福山市立 大津野小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見・解決力	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性	共感力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決し、新たな課題を見つけている。	生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えを持ち、目的や意図に応じて、積極的に説明していたり、適切な方法を選択したりして表現している。	集団の中で、相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標を持ち、自分から行動している。	相手を思いやることの大切さに気付き、相手の立場を尊重し、行動している。

2 授業の現状

- 単元の導入で、学びの必然性や課題意識を持って取り組む児童が増えた。
- △協働の学びの中で、考えを深め合うことが十分ではない。
- △児童が単元の終わりまで、主体的に学び続けることに課題がある。

転換

3 めざす授業の姿

- 児童が関わり合い、認め合い、主体的に学び続ける授業
- ・児童が関わり合いの中で互いに学び合い、認め合いながら考えを深める授業
- ・自ら課題を発見し、学びに連続性のある授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> ・協働の学びを通して、自分の考えが広がったり深まったりしたことをふり返りで「誰のどんな考えで～が分かった。」のように具体的に書き、学びを自覚させる。 ・国語科の説明文・物語において、主体的な学びを充実させるための取組シートを学期に1単元ずつ作成し、成果と課題を次の単元に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働の学びを通して、74%の児童が友だちの考えから学んだことをふり返りに書くことができた。しかし、友だちのどんな考えかを具体的に書くことができていない。 ・国語科の説明文・物語において全員が取組シートを作成し、主体的な学びづくりに取り組むことができたが、学びの充実には至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふり返りから1時間の学びを自覚させるために、9月は話型(○○さんの～な考え方で…)を提示してふり返らせる。2学期末に児童の学びの変化を交流する。 ・主体的な学びを充実させるために引き続き取組シートを作成する。また、フリートークを全学級で週2回以上行い、「友だちと学ぶ」「友だちから学ぶ」ことを充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・76%の児童が友だちの考えから学んだことなどをふり返りに書くことができた。児童のノートを低・中・高・特支部会で交流し児童の学びの深まりや授業づくりについて学び合うことができた。 ・国語科で取組シートを作成し、週2回以上フリートークを取り入れたことで、授業で考えることが面白いと答えた児童が増えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の最後に友だちの考えから学んだことや考えたこと、さらに学びたいことをふり返らせる。月に1回ノートを交流し、児童の変容を見取る。 ・国語科で主体的な学びを充実させるための取組シートを継続して作成する。フリートークを充実させるために、まず同じ考えの友だちと話し考えを深める。さらに違う考えの友だちと話すことで、学びを広げる。 	

5 取組の結果等

数値は2019年(H31年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

〈児童生徒質問紙調査〉(%) (肯定的評価)

国語	65(-1)
算数	63(-5)

自分にはよいところがある	85.7
先生はよいところを認めてくれる	83.6
将来の夢や目標を持っている	85.7
人の役に立つ人間になりたい	95.9

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 (児童生徒質問紙調査) (%) (肯定的評価)

(肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	94.6
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	91.1
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う	83.9
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	82.1

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)

(12)月末現在

暴力行為	0	不登校	0.6
------	---	-----	-----

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 27 / 48	握力と50m走、20mシャトルランで、男子が13/18項目、女子は8/18項目課題があった。	ソフトボール投げと50m走に課題がある。	課題のある種目について、家庭学習や体育の準備運動に取り入れられたり、学期ごとの重点項目を設定したりして、体育授業の改善に取り組む。
(女子) 32 / 48			
目標値	「ソフトボール投げ」「50m走」の県平均値かつ全国平均値以上の児童の割合を男子を54.1%から60%以上、女子を58.3%から65%以上にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	55.6	0
仕事に充実感がある	38.9	0

児童生徒アンケート(%)

(12)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	89.9	10.1
自分の考えは、認められている	89.9	10.1